

全国学力・学習状況調査の結果について

初秋の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校教育に対し、ご理解・ご支援をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。なお、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

I 教科に関する調査

国語	本校平均正答率 69%	広島県平均正答率 69%	全国平均正答 67.7%
----	-------------	--------------	--------------

【重点課題】

- ①目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討すること。
- ②文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。

【重点課題に対応した改善する指導内容及び方法】

〈①について〉

- ・国語科のみならず、生活科や総合的な学習の時間等と関連付けて、相手に伝わるように理由や事例を挙げながら話の中の中心が明確になるよう、話の構成を考えさせる。
- ・日常生活の中から課題にあう情報を集め、伝えたい内容に応じて、分類、整理できるよう視点をもたせ複数のまとまりに分けたり、異なる内容の材料を統合してどのようなことが言えるのか考えさせたりする。
- ・聞き手の興味関心や情報量を予想し、補足説明が必要な個所や言葉だけでは伝わりにくい内容について、どのような資料を用意すればよいのか話し合う活動を取り入れる。

〈②について〉

- ・低学年のうちから、文章の中で主語・述語の正しい関係に気付かせるよう、作文を書く・文章に印をつけるなどの指導を行う。
- ・文章の中から、主語と述語を抜き出し、意味がつながるのか確かめさせる。
- ・主語と述語を間違えている例も紹介し、正しく修正するなど語句の関わり方を意識させる。
- ・つなぐ言葉の働きを理解して、文や文章の中で正しく使えるよう、具体例を示しながら指導する。
- ・文章を書く際、「主語述語はあるか」「相手に分かりやすい文章構成になっているか」などの視点を明確に示すことや、「はじめ・中・終わり」「序論—本論—結論」などの文章の構成を確かめさせ、推敲する活動を取り入れる。

【重点課題】

- ①異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、日常的に目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすこと。
- ②数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かすこと。

【重点課題に対応した改善する指導内容及び方法】

〈①について〉

- ・混み具合や速さを考える際、計算をする前に、比べる方法がないか日常生活や具体的な場面を用いて考え、長さや重さのような量と対比させながら指導する。
- ・1あたりの大きさを計算する場合に、単位に印をつける、立式する場合に色分けをする、図を使うなどして、異なる二つの量がどう関係しているのか比べやすくする。

〈②について〉

- ・問題文をよみ、具体物（半具体物）を操作して考える算数的活動を重視して取り入れる。
- ・日常生活における出来事を算数と結び付けて考え、分かったことを式だけでなく、図や言葉を用いて表現し、その良さを指導する。
- ・身近な出来事から、大きな数について調べ、目的に応じて分類整理して表やグラフに表し、それを用いて考えたことを伝え合う活動を取り入れる。
- ・大きな数について、目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなどして処理し、問題解決の過程や結論について振り返り、妥当性を考えたり、改善点はないかと検討したりするなど振り返るよう指導する。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

本校結果と全国結果を比較した場合、次の事項は、特に本校児童のプラス面(○)、マイナス面(●)と言えます。

- これまでの授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週一回以上使用しましたか。(本校 95.1% 全国 59.5%)
- 自分にはよいところがあると思いますか。(本校 89.0% 全国 84.1%)
- 友達関係に満足していますか。(本校 96.3% 全国 91.9%)
- 将来の夢や目標を持っていますか。(本校 68.3% 全国 82.4%)
- 人が困っている時は、進んで助けていますか。(本校 87.8% 全国 92.7%)

【課題に対応した改善する指導内容及び方法】

- ①普段の授業の中で、子供それぞれが課題設定をする場面を取り入れ、自分の目標達成に向けて、時間・場所・量・方法などを自己選択、自己決定する個別最適な学びを行う。また、学習を向上心・協働性・忍耐力の3つの視点で振り返り、教師による評価を継続して行うことで、目標をもって進んで学習できるよう指導する。
- ②特別活動、体験活動、道徳教育など学校教育全体を通じて、人と関わり合うこと・話し合うことで豊かな心を育む取り組みを行う。